

ペレットクラブ設立 20 周年記念シンポジウムのご案内

2020 年にパンデミックを引き起こしたコロナ禍は 3 年間、全世界の経済活動に大きな制約をもたらした後、2023 年に終息しました。この間に得た教訓は、人為的な行動制限によって CO2 の排出量を IPCC の目標値まで低下させることが可能という点でした。

一方、人と人が触れ合うことこそが、人が人として成長し、世の中を構築することの大前提であることも知りました。ウェブ会議で代用できる会議が多いのは事実であるものの、我々のような NGO/NPO にとって、例えば再生可能エネルギーの普及について議論するような場は、やはり対面でないと関係者の意思が統一できないことを思い知りました。

そこで、この度、ペレットクラブの設立 20 周年を記念することにあわせて、日本における過去 20 年間の木質ペレットの発展を総括するとともに、これからの 20 年について皆さんと議論する場を設けたいと考えるに至りました。

日本における木質ペレット導入の歴史は古く、1980 年代の第二次オイルショックを契機として、米国からのペレット輸入で始まりました。その後、当時の林野庁や通産省の支援もあり、国内にペレット工場が建設され、1985 年には 26 工場、生産量は 27,000 トンまで増加しました。しかしその後、石油価格の低下に伴い「石油代替エネルギー」としてのペレットの価値も低下し、2000 年には 3 工場、生産量は 2,300 トンまで低下しました。

ペレットクラブが準備会として設立されたのは 2001 年。1999 年に「地球温暖化対策の推進に関する法律」のもと設立された全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）の初代センター長であった故須田春海さんに声をかけられたのがきっかけでした。2000 年当時、木質バイオマス利用研究会の事務局を運営していた私に対して「家庭で利用できる再生可能エネルギーのうち、バイオマスについてはペレットが良いと思うのだが、全国的なネットワークを構築できないだろうか」と打診がありました。そこで、産業と行政、市民をつなぐためのネットワーク形成を目的として、全国の関係者に向けてワークショップの開催を案内したところ、要旨提出が条件という高いハードルにも関わらず、79 名からの発表をいただくことができました。特に、当時残っていた 3 社のペレット生産者全てからの参加と発表をいただけたことで、失われた 20 年の経験をもとに、ここからの 20 年のための団体が必要という話になり、3 年間の準備会での議論を経て、2004 年にペレットクラブが設立されました。

以来 20 年、紆余曲折ありましたが、ペレットクラブは燃料やストーブの規格化、認証に関する様々な活動を展開してまいりました。最近ではペレット燃料の JAS 規格制定や ISO/TC238 への参加、ペレットストーブの省エネ基準への適合に向けた試験など、関係する団体と協力することで、木質ペレットの熱利用に向けた条件整備が整いつつあります。

今回のシンポジウムでは、これらの活動成果について各団体から報告をいただくとともに、FIT による輸入ペレットや発電の問題、ガス化 CHP の課題などについても報告いただき、ここからの 20 年を議論できればと考えております。少し元気がなくなっている国産ペレットの機運上昇につながれば幸甚です。

2024 年 8 月 15 日

ペレットクラブ

代表理事 小島健一郎

【名 称】～ペレットクラブ設立 20 周年記念シンポジウム～

「日本のペレット 20 年の歩みとこれからの社会」

【日 時】2024 年 10 月 25 日（金）13:30～17:30（開場/受付は 12:30～）

【プログラム】

13:30	開会の挨拶 ペレットクラブ 理事 西岡泰久	5 分
13:35	これまでの 20 年と今後の 20 年 ペレットクラブ 代表理事 小島健一郎	25 分
14:00	Q&A	5 分
14:05	林野庁における木質バイオマス政策と木質ペレットの推進<仮題> 林野庁林政部木材利用課木質バイオマス推進班 課長補佐 本山淳一氏	25 分
14:30	Q&A	5 分
14:35	ペレットの JAS 規格制定と認証 日本木質ペレット協会 会長 岡本利彦氏	25 分
15:00	Q&A	5 分
15:05	ペレットストーブの省エネ基準と JIS 規格化 日本ペレットストーブ工業会 会長 竹平政男氏	25 分
15:30	Q&A	5 分
15:35	Coffee break グリーン焙煎コーヒーの提供（アライドコーヒーロースターズ様より）	15 分
15:50	ISO/TC238 への P メンバー参加と 2025 年東京大会の招致 固体バイオ燃料標準化協議会 理事 武昌信氏	25 分
16:15	Q&A	5 分
16:20	近年の輸入ペレット増加と持続可能性 バイオマス産業社会ネットワーク 理事長 泊みゆき氏	25 分
16:45	Q&A	5 分
16:50	バイオマスガス化 CHP の普及状況とペレットの品質 PEO 技術士事務所 代表取締役 笹内謙一氏	25 分
17:15	Q&A	5 分
17:20	閉会のまとめ ペレットクラブ 代表理事 小島健一郎	10 分
17:30	終了	
18:00	交流会	120 分
20:00	解散	

司会進行：ペレットクラブ 理事 橋本務太

シンポジウム

【場 所】 東京大学「弥生講堂 一条ホール」

【定 員】 250 名

【参加費】 一般：3,000 円、学生：無料

【主 催】 ペレットクラブ

【協 力】 (一社) 日本木質ペレット協会、(一社) 日本ペレットストーブ工業会、(一社) 固体バイオ燃料標準化協議会、(特非) バイオマス産業社会ネットワーク

【協 賛】 アライドコーヒーロースターズ (株)、ラブ・フォレスト (株)

交流会

【場 所】 東京大学「弥生講堂 会議室」

【定 員】 50 名

【時 間】 18:00~20:00

【参加費】 一般：5,000 円、学生：2,000 円

■参加申込

参加を希望される方は、下記 URL よりお申込みいただいた後、参加費をお振込みください。

<https://forms.gle/vuzL75iSQBGX2E5n9>

※参加費：シンポジウム（一般 3,000 円、学生 0 円）、交流会（一般 5,000 円、学生 2,000 円）

※フォームからの参加申し込みは 10 月 24 日（木）を期限とさせていただきます。

※それ以降は当日参加となりますので、当日会場にお越しください（当日参加は費用が異なります）。

■支払方法

下記銀行口座に事前にお振込みください。

八十二銀行 大門町支店（普通） 390018 ペレットクラブ

■支払期限

2024 年 10 月 21 日（月）

※10 月 22 日（火）以降のお支払いは当日会場受付にて「現金のみ」とさせていただきます。

※当日参加費：シンポジウム（一般 4,000 円、学生 0 円）、交流会（一般 6,000 円、学生 2,000 円）

■備考

メディア取材については、シンポジウム・交流会ともに無料です。

ただし、フォームからの参加申込をお願いします。

公平性を期すため、取材費はお受け取りできませんので、予めご了承ください。